

県内一の産地！

## 「チンゲンサイ」収穫最盛期！

【4月下旬／安城市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央チンゲン菜生産部会（部会長：大橋正樹）が栽培するチンゲンサイの収穫が最盛期を迎えています。当 J A管内の安城市は県内一のチンゲンサイの生産地。一年を通じて収穫されるチンゲンサイですが、日照時間も長く気候もよい3月～6月上旬にかけて収穫量が増えてきます。

同部会では、夏の高温対策技術の開発や品種・作付け方法を統一しています。施設（ハウス）の一角を仕切ったスペースで、暖房機を利用した苗の安定生産を図り、施設の有効利用と経費節減、苗の移動距離短縮による省力化を実現した結果、年間8～9回の周年栽培体系を確立しています。また、毎月の全体会議に合わせて目ざろえ会を行い、一箱当たりの重量や大きさのそろいなどを確認し、部会員の出荷規格を統一しています。



一株一株手作業で収穫します

### J Aあいち中央チンゲン菜生産部会

- 部会員：12人（安城市11人、碧南市1人）
- 施設面積：約7ヘクタール      ■年間作付け延べ面積：約60ヘクタール
- 出荷時期：周年出荷      ■総出荷量：年間約1,400トン
- 流通先：中京市場（名古屋・セントライ・愛知県中央・岐阜岐阜ほか）



ハウス内の様子



選果・選別し、出荷用の箱に詰めます

### <メディア対応日>

- 日時：令和3年4月下旬／時間未定
  - 場所：J Aあいち中央安城南支店集合（安城市和泉町南家下6-1）
- ※当日は、安城市内のハウスで収穫作業をご案内いたします。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、山村、杉浦）

TEL：0566-73-5504／FAX：0566-73-5513／E-mail：kouhou@jaac.or.jp